

平成19年12月20日
国土交通省鉄道局

平成20年度予算に向けた鉄道関係公共事業の 事業評価結果及び概要について

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、新規事業採択時評価等を実施していますが、平成20年度予算において新たに事業費を予算化する事業につきまして、その評価結果及び採択箇所等を公表しますのでお知らせします。

【問い合わせ先】

国土交通省鉄道局

施設課

課長補佐

秋元（内線40852）

直通03-5253-8553

総務課企画室

課長補佐

中野（内線40172）

直通03-5253-8526

平成20年度予算に向けた新規事業採択時評価について

【公共事業関係費】

事業区分	新規事業採択箇所数
都市・幹線鉄道整備事業	1
合計	1

新規事業採択時評価結果一覧

【公共事業関係費】

【都市・幹線鉄道整備事業】

(鉄道駅総合改善事業)

事業名 事業主体	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等による評価	担当課 (担当課長名)	
		貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C (億円)			
		便益の内訳及び主な根拠					B / C
椎名町駅総合改善事業 第3セクター等公的主体	22	36	【内訳】 利用者便益：29億円 社会的便益：7億円 【主な根拠】 平成18年度 椎名町駅乗降人員：18,912人/ 日	22	1.7	・エレベーターの設置による駅内外の バリアフリー化 ・橋上駅舎化による踏切混雑の解消	鉄道局 施設課 (課長 米澤 朗)

新規事業採択時評価の結果

【鉄道駅総合改善事業】

事業概要					
事業名	椎名町駅総合改善事業	整備区間	西武池袋線椎名町駅		
供用年度	平成24年度 (建設期間:平成20～23年度)	総事業費	22億円 (うち駅総事業費 13億円)		
事業の目的・必要性					
<p>椎名町駅は構内がバリアフリー化されておらず、駅に隣接する踏切が「開かずの踏切」となっている。また、駅周辺道路が狭隘で、広場も整備されていない。このため、鉄道利用者及び地域住民から駅の早急な改善が求められている。</p> <p>本事業は、広場や自由通路、周辺道路の整備と一体的に、橋上駅舎化等鉄道駅の改善を実施することにより、円滑な歩行者動線の確保、バリアフリー化、鉄道による地域分断の解消等、鉄道利用者と地域住民の利便性の向上を図るものである。</p> <p>開かずの踏切：ピーク時1時間あたりの遮断時間が40分以上の踏切</p>					
事業効率					
費用便益分析					
費用	22億円 (22億円)	貨幣換算した主なもの：建設費			
便益	36億円 (43億円)	貨幣換算した主なもの：移動時間低減 踏切の通行解消に伴う便益			
B / C	1.7 (2.0)	B - C	14億円 (21億円)	E I R R	8.6% (9.2%)
感度分析 (B/C)	需要 + 10%		費用 + 10%		建設期間 + 1年
	1.7		1.5		1.6
	需要 - 10%		費用 - 10%		建設期間 - 1年
	1.6		1.8		1.7
上記分析の基礎とした需要予測 椎名町駅乗降人員 平成18年度 18,912人/日					
事業による効果・影響					
利用者への効果・影響	バリアフリー経路の確保、エスカレーター設置に伴う移動抵抗低減、駅へのアクセス改善				
社会全体への効果・影響	駅内外のバリアフリー化、自由通路設置による地域分断の解消、踏切及び周辺道路の混雑解消 等				
実施環境					
地元住民及び地元自治体からの強い要望がある。 現在、中央環状新宿線の整備に伴う都道環状6号線の椎名橋の架替え・拡幅工事が行われており、地元豊島区ではこの下部空間を利用した駅前広場、駐輪場の整備を予定している。					
備考					
総事業費は鉄道駅総合改善事業の補助対象額に加え、自由通路整備費等を含めたものとしている。					

() は50年で計算